

集積化センサシステムによる ユビキタス健康管理を目指して

Integrated Sensor Systems for Ubiquitous Health Care Applications

超高齢化社会を迎える我が国では、病気の超早期診断の重要性が増している。IoT 社会の到来により、日常生活にセンサを浸透させ大量のセンサデータから疾病を超早期に診断すること期待されている。本シンポジウムでは、センサの最先端技術を把握し疾病の超早期診断にとどまらない、ウェルビーイングを目指したセンサのあり方などを含め、各種センサシステムの応用展開を展望する。

日時： 2018 年 3 月 19 日（月） 午後（13:00～を予定）

場所： 早稲田大学 西早稲田キャンパス 52 号館 C101（予定）

招待講演者/テーマ（敬称略，発表予定順）

三宅美博（東工大）

ウェアラブルセンサによるパーキンソン病の超早期診断に向けて

織茂智之（関東中央病院）

パーキンソン病

野澤孝之（東工大）

ウェルビーイング評価と脳科学

澤田和明（豊橋技科大）

マルチモーダルセンサ， μ -TAS

才脇直樹（奈良女子大）

感性・環境インタフェースと認知心理学

内田建（慶大）

呼気診断へ向けたナノシート分子センサ

柳田剛（九大）

金属酸化物ナノワイヤ分子識別センサシステム

世話人（50 音順）：内田建（慶大），小山正人（東芝），曾根正人（東工大）